

指導者 広島県立因島高等学校

朝原 頌子

- 1 日時・場所 令和元年 10 月 31 日（木）第 5 限 13:35～14:25 44 番教室
- 2 学年・学級 第 1 学年 1 組 26 名（男子：16 名，女子：10 名）
- 3 単元名 スマートで自立した消費者になろう！

4 単元について

（1）単元観

本単元は高等学校学習指導要領 第 9 節 家庭 家庭基礎（2）「生活の自立及び消費と環境」エ「消費生活と生涯を見通した経済の計画」にあたる。ここでは消費生活の現状と課題，消費者の権利と責任などについて理解させ，適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに，生涯を見通した経済の管理や計画について考えさせることをねらいとしている。

グローバル化や情報化が急速に進展する中，消費者をめぐる状況は多様化，複雑化している。平成 16 年（2004 年）には消費者基本法，平成 24 年（2012 年）には消費者教育推進法が制定され，国全体で消費者教育施策の推進が図られている。生徒に社会の変化に伴う消費生活の課題を認識させ，生涯を見通した経済計画について考えさせることは，彼らの生きる力を育むうえで重要であると思われる。

（2）生徒観

本校では地理的な条件から，生徒がインターネットを利用して商品を購入する機会が今後さらに増えていくことが予測される。消費生活に関するアンケートを実施したところ，本クラスにはオンラインゲーム，漫画，衣類などに出費する生徒が多く，ネットショッピングを利用する者も多かった。また実際に，ネットショッピングでの購入後に商品が届かないなどの消費者トラブルを経験した生徒もいた。金銭の管理については，56%の生徒が必要な時に必要な分だけお金をもらって使っており，月々決まった金額の範囲内で消費をする経験は乏しいといえる。

（3）指導観

本単元では，食品や衣服の購入や娯楽など生徒にとって身近なテーマを扱い，身の回りで起きている消費者問題や適切な契約方法などについて理解させる。家計管理については，将来の生活に関するシミュレーションを取り入れ，事故，病気などの不測の事態や，結婚，退職などのライフイベントをイメージさせることで，長期的な視野を持った家計管理について考えさせたい。また，グループワークを通じて対話的な学びの場を設け，個人によって消費行動や家計管理に対する視点や価値観が異なることにも気付かせたい。

5 単元の目標

経済的自立に向けて，生涯を見通した家計管理について関心をもち，消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任についての基礎的・基本的な知識及び技術を身に付け，適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに，生涯を見通した生活における経済の管理するための工夫ができるようにする。

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
家庭の経済生活，社会の変化と消費生活，消費者の権利と責任について関心をもち，意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	消費生活および消費者問題の解決を目指して思考を深め，適切に判断する能力を身に付けている。	自立した消費者として，家庭経済の管理や計画に関する技術を身に付けている。	消費生活および消費者問題に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，それらを用いて場面に応じて適切に対応する方法について理解している。

7 指導と評価の計画（全5時間）

次	主な学習内容	評 価					
		関	考	技	知	評価規準	評価方法
1	主体的な消費行動と契約・消費者の権利と責任（1）	◎			○	- 消費行動における意思決定のプロセスについて，具体的に考えようとしている。 - 消費者の権利と責任について理解している。	- ワークシート - 定期考査
2	多様化する販売方法と問題商法（1）		◎		○	- さまざまな販売方法と問題商法について理解している。 - 問題商法への対処法および予防法を自分なりに考え，工夫している。	ワークシート
3	支払い方法の仕組みと適切な契約のための制度，法律（1）		○		◎	- 将来の生活における支払い方法を自分なりに考えている。 - 消費者を守る制度や法律について理解している。	- ワークシート - 定期考査
4	家計における収支の計画（本時1／1）		◎		○	- 家計の構造について理解している。 - 家計における収支バランスについて考え，工夫している。	- ワークシート - 定期考査
5	生涯を見通した経済計画（1）	◎		○		- 各自のライフプランに必要な費用を算出できる。 - 将来起こりうる不測の事態とその備えについて，長期的な視点から考えようとしている。	ワークシート

8 本時の展開

(1) 本時の目標

家計の構造を理解し、収支のバランスについて考え、工夫する。

(2) 本時の評価規準

- ・家計の構造について理解している。【知識・理解】
- ・家計における収支のバランスについて考え、工夫している。【思考・判断・表現】

(3) 準備物

教科書「新図説 家庭基礎」(実教出版), 一人暮らしオーダーシート, ワークシート
ホワイトボード, マーカー

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準 【観点】 (評価方法)
導入 (5)	○一人暮らしに必要な費用をイメージする ○本時の目標を知る 家計の構造を理解し、収支のバランスについて考えよう！	◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て ◇1ヶ月間一人暮らしをする際に必要だと思う費用項目を尋ねる。 ◇一人暮らしに必要な費用項目と家計について簡単に説明する。	
展開1 (20)	○シミュレーションを通して一人暮らしにおける収入と支出のバランスを考える	◇「家計管理アドバイザー」として依頼者のオーダーが実現できるよう、支出金額について考えさせる。(ワークシート①) ◇依頼者の実際の給料を発表し、給料、非消費支出、手取りの関係について給与明細をもとに説明する。 →依頼者の手取りと各自が考えた支出との差額を計算させる。(ワークシート②) ◇差額から考え直した方が良いと思う点について各自で考えさせる。(◆ランクを下げる事が可能な支出項目とその理由を挙げさせる。)(ワークシート②) 予想される生徒の回答 ・人脈作りができるよう、食費を高ランクにした。収支の差額が小さいので、交通費はCランクに落とし、とりあえずは公共機関を使ってもらう。	家計の構造について理解している。 【知識・理解】 (定期考査) 家計における収支のバランスについて考え、工夫している。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)

展開 2 (10)	○収支のバランスに関する気づきをグループで共有する	◇収支のバランスについて考えたことをグループ内で発表させ、他者の差額結果や意見をワークシートに記入させる。	
展開 3 (10)	○グループごとに依頼者へのアドバイスを考える	◇依頼者の夢や目標を実現するための具体的なアドバイスを各グループで考えさせ、ホワイトボードに記入させる。 ◇各グループの意見を全体で共有する。 予想される生徒の回答 ・人と食事の約束をしていないときは自炊するなどして、外食頻度をできるだけ抑えた方がいい。 ・ある程度貯金ができるまでは駅近の家には住まず、公共交通機関を使って通勤した方がいい。	
まとめ (5)	○家計管理のシミュレーションを振り返る	◇家計管理をする中で難しかったことや大切だと感じたことを書かせ、数名の生徒に発表させる。 ◇次時の内容を知らせる。	

一人暮らしオーダーシート						
	依頼者	因島 花子	性別	女	年齢	25歳
	特徴	広島 of 広告関連企業で働く社会人3年目。仕事や職場にも慣れてきて、これからもバリバリ働きたい。将来はペット関係での起業を計画していて、そのための貯金や人脈作り、勉強に励みたい。また、日々の癒やしのために一人暮らしに実家の愛犬を連れていきたい。				
オーダー	【住居費】通勤が楽な駅近物件で、犬と一緒に過ごしたい。 【水道光熱費】留守の間でも犬のために冷暖房が必要。 【通信費】ネットで情報収集や企画のネタを探している。 【食費】食事は人脈作りも兼ねて、色々な人と外食が多い。 【交通費】犬と出かけるためにできれば車を持ちたい。 【被服費】仕事ではブランドの服でお客様に好印象を与えたい。 【教養娯楽費】ビジネススクール（月3万円）に週1回通って起業の勉強をしたい。 【預貯金】将来の起業のためにたくさん貯金したい。					

※ その他について：医療衛生関係や冠婚葬祭などの費用

1K 1DK 1LDK

1 ... 1部屋
 L ... リビング (居間)
 D ... ダイニング (食堂)
 K ... キッチン (調理場)

1年()組()番()

	ランク	金額			
住居費			0	0	0 円
選択するオプションに○をする	駅近・ペット可・防音仕様 オートロック		0	0	0 円
水道光熱費			0	0	0 円
通信費			0	0	0 円
食費			0	0	0 円
交通費			0	0	0 円
被服費			0	0	0 円
教養娯楽費			0	0	0 円
預貯金			0	0	0 円
その他			0	0	0 円
支出合計			0	0	0 円

--

【参考】https://www.zenginkyo.or.jp/special/money-highschool/download_a1/

1 花子さんの収入と支出

○ 控除計
60,000

=	差額 円
---	---------



メンバー	手取りとの差額 (±円)	改善案

A colorful illustration of four children playing with large wooden blocks. A girl with black hair and a red bow is sitting on top of a stack of blocks, waving. Below her, a boy with black hair is looking up. To the left, a girl with black hair in a ponytail is also looking up. In the foreground, the back of a boy's head is visible as he looks towards the other children. The blocks are brown and rectangular.

--